

修了評価の方法 1

事業者番号 161

事業者名 株式会社 QOLサービス

	確認・評価方法	理解度・合格基準	理解不足・不合格時の取扱い
①各科目	<ul style="list-style-type: none"> ◆出席簿により出欠を確認。 ◆担当講師がレポート等により理解度等を確認すること。 <p><通信課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆担当講師が提出された課題の添削を行い、理解度を確認すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆各科目の全ての実施時間に参加すること。 ◆研修計画の各科目の修了時の評価ポイント（「職務の理解」及び「振り返り」の実習においては介護職の働く現場や仕事内容に対する理解度）に達していること。 <p><通信課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆研修計画の各科目の修了時の評価ポイントに達していること。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆やむを得ず欠席した場合は補講を受講すること。 ◆理解度が不足していると認められる場合は、指導・助言・補講等による補習を実施した後に、レポート等による再確認を行う。（ただし「9. ころとからだのしくみと生活支援技術」については、科目試験により評価を行うため除く。） <p><通信課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆理解度が不足していると認められる場合は、指導・助言・補講等による補習を実施した後に、課題の再提出による再確認を行う。（ただし「9. ころとからだのしくみと生活支援技術」については、科目試験により評価を行うため除く。）
②科目試験 （9. ころとからだのしくみと生活支援技術）	<ul style="list-style-type: none"> ◆出席簿により出欠を確認。 ◆「9. ころとからだのしくみと生活支援技術」の講義・演習修了後、科目の時間内に実施。 ◆筆記及び口答試験については、担当講師が添削を行い、介護技術の習得度を評価する。実技試験については、2時間以上実施し、実技試験評価担当講師が「評価マニュアル」にそって介護技術の習得度を評価する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆「9. ころとからだのしくみと生活支援技術」の講義・演習時間全てに参加していること。 ◆課題の総得点の7割以上を合格とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆やむを得ず欠席した場合は補講を受講すること。 ◆不合格の者に対しては、科目試験が合格になるように指導・助言・補講等による補習を実施した後に、再試験を行う。
③修了試験	<ul style="list-style-type: none"> ◆全科目の修了後に実施。 ◆筆記試験をおおむね1時間実施し、担当講師が評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆全科目修了後であること。 ◆課題の総得点の7割以上を合格とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆不合格の者に対しては、修了試験が合格になるように指導・助言・補講等による補習を実施した後に、再試験を行う。
④修了認定	<ul style="list-style-type: none"> ◆上記①～③の確認・評価を元に課程編成責任者が総合的に判断して認定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆上記①～③の理解度・合格基準を全て満たしていること。 	<p>_____</p>